

今回は、1年生のカンパニープロジェクト、2・3年生のPBLグランプリ第一次審査会などの学生の取り組みを中心にお伝えします。

1年生 プロジェクト演習：カンパニープロジェクト

《投資家説明会》

1年生は必修科目「プロジェクト演習Ⅰ」において、模擬会社を運営するカンパニープロジェクトに取り組んでいます。今年は12社設立し、11月の大学祭でそれぞれ模擬店を運営しました。その活動資金調達のため、2019年10月4日(金)に、「投資家説明会」を開催しました。

各社はそれぞれ投資家対象のスライドを作成し、設立目的、事業内容、販売計画、必要経費と収益の見込みなどを説明しました。「人の心とお腹を満たす」ことを目的に選んだ商品の特徴をアピールする会社、損益分岐点に基づいて販売数量を決定し安定経営をアピールする会社、株主優待制度を示す会社もありました。

《大学祭での店舗運営》



2019年11月9日(土)、10日(日)の第55回兵庫大学聚萌祭において、カンパニープロジェクト12社がそれぞれ模擬店を出しました。「現ビズストリート」と名付けた2号館前に12社が勢ぞろいし、それぞれ営業活動に励みました。

いざ開店してみると、計画通りにはいかず、近隣の競合店のリーズナブルな価格に対抗して価格設定を変更したり、お客様に足を止めてもらえるよう、看板に手を加えたり、キャンパス内で営業活動に力を入れたり、さまざまな対応策をとる会社もありました。予定どおりに事業を実施できたでしょうか？ 決算報告は、12月の株主総会で行います。

現ビズ学生対象 キャリア教育授業

2019年10月18日(金)に、2、3年生を対象として、本学客員教授の松野恵介氏によるキャリア教育授業を行いました。今年度2回目で、「自己PR」を中心に学びました。「大学生活で力を入れたこと」などについて記述する演習では、学生が2年間あるいは3年間で取り組んだことを振り返り、自己PR文を作成しました。

これからの就職活動に活かしてくれることを期待します。



Foreign Trade University(ベトナム社会主義共和国)との協定



2019年10月1日(火)、現代ビジネス学部長の松本教授が、ベトナム社会主義共和国の首都ハノイにあるForeign Trade Universityを訪れ、兵庫大学との国際交流協定式に出席しました。松本学部長は協定式において河野学長がサインした協定書を同大学Bui Anh Tuan学長に手交し、パートナーシップを正式に締結しました。このことと併せて、2021年度から同大学学生を本学へ編入学生として受け入れる「2+2プログラム」を実施する契約も締結しました。

松本学部長は協定式終了後に同大学国際教育学部学生に対して本学の説明を行うなど、積極的に同大学学生と交流を図りました。

現代ビジネス学部では、2020年度入学生から留学生を迎えます。今後、ますます国際交流が活発になることを期待しています。

第2回PBLグランプリ 第一次審査

兵庫大学では、昨年度より各学科の専門性を活かして地域課題解決に取り組むPBL(Project based learning)のコンテスト「PBLグランプリ」を開催しています。今年度は、全学で13チーム、現ビズからは6チームが参加し、11月9日(土)大学祭第1日目に、第一次審査会が行われました。

第一次審査は、チームごとに、地域活動の取り組みについてポスターと解説で紹介し、教職員、学生、地域の皆様による投票で行われました。審査の結果、現ビズからは「自然とふれあう体験プロジェクト」「加古川てらこや2019プロジェクト」が通過し、2020年2月13日(木)開催の本選会に出場することになりました。現在のところ、本選会には6チーム出場予定です。学生たちの地域活動の成果発表にご期待ください。



プロジェクト実践: ブライダルプロジェクト



「ブライダルプロジェクト」チームは、11月に学生プロデュースの2つの結婚式を挙げました。1つは、11月9日(土)17時から兵庫大学の芝生広場でのキャンパス・ウエディング、そしてもう1つは、11月23日(土)、昨年に引き続き、稲美町加古大池での「いなみ de Wedding」です。

スタッフの学生たちは、事前のインタビューでお2人の意向をくみ上げ、喜んでいただけるような演出・進行を工夫しました。学生たちは、緊張の面持ちで進行にあたりましたが、幸せいっぱいのご夫婦に接し、また列席された皆様にも喜んで頂けて、学生たちにとっても感動と幸せの時間となりました。

ブライダルプロジェクトの詳細は、現代ビジネス学科リーフレット「SOTO-MANABI 2019Winter」に掲載しています。ぜひご覧ください。

